

新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン

2023年5月8日施行

学校法人片柳学園

1. 本ガイドラインについて

本ガイドラインは、国の指針に基づき、本学園として、学校運営上取るべき感染症リスクを低減するための指針を示すものです。本指針は、今後の状況等を踏まえながら、必要に応じて改訂・追加する場合がありますのでご注意ください。

2. マスク着用について

学生は各個人の判断に委ねることを基本としますが、感染防止対策としてマスクの着用が効果的である場面などにつきましては、マスクの着用を推奨します。教職員につきましては、学生第一という考えのもと、学生が安心して学修に取り組むことができるよう、当分の間、マスクの着用を推奨することとします。なお、学生・教職員にかかわらず、感染拡大を防止するという観点から、頭痛や咳、呼吸器症状、熱、倦怠感等の風邪症状がある場合は、マスクの着用を徹底してください。

3. マスク着用を推奨する場面 ※不織布マスクの着用を推奨します

- ①スクールバスおよび混雑する公共交通機関を利用する場合。
- ②屋内において、他者と身体的距離がとれない場合や他者との距離はとれるが、会話をを行う場合。
- ③屋外において他者と距離がとれず会話をを行う場合。

なお、屋外において、他者と身体的距離が取れる場合、又は、他者と距離が取れない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要なく、特に夏場については、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨します。

4. 活動制限指針

本学園の諸活動については、このガイドラインのほか、別に定める「新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校法人片柳学園(法人本部、東京工科大学、日本工学院蒲田・八王子・北海道、日本語学校)の活動制限指針」(レベル0～レベル4)(以下、「片柳学園活動制限指針」という。)に基づき、感染拡大状況に応じた活動制限を行い、留意するものとします。

5. 感染した場合

特に発症後5日間は他人に感染させるリスクが高いことから、発症日を0日目(無症状の場合は、検体採取日を0日目とする)として5日間は外出を控え、こうした期

間にやむを得ず外出する場合は、症状がないことを確認し、マスク着用等を徹底してください。また、5日目に症状が続いている場合は、熱が下がり、痰や喉の痛みなどの症状が軽快して24時間程度が経過するまでは、外出を控え様子を見て、症状が重い場合は、医師に相談するようにしてください。

6. 感染した場合の周りの方への配慮

発症後10日間が経過するまでは、ウイルス排出の可能性があることから、不織布マスクを着用したり、高齢者等ハイリスク者との接触を控えたり等、周りの方へうつさないよう配慮してください。発症後10日を過ぎても咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には、マスクの着用等の咳エチケットを心がけてください。

7. 同居家族が感染した場合

同居されている方が新型コロナウイルス感染症にかかったら、可能であれば部屋を分け、感染された方のお世話は、できるだけ限られた方で行ってください。また、外出する場合は、新型コロナにかかった方の発症日を0日として、特に5日間はお自身の体調に注意してください。

7日目までは発症する可能性があります。この間は、手洗い等の手指衛生や換気等の基本的感染対策のほか、不織布マスクの着用やハイリスク者と接触を控える等の配慮をしてください。もし症状が見られた場合には、5. 感染した場合を参照してください。

8. 基本的な感染対策について

今後も、基本的な感染対策は重要であり、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等を励行してください。